

氏名	関美雪	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	公衆衛生看護学				
学位	博士(医学)				
学歴	96年筑波大学教育研究科修士課程、07年筑波大学人間総合科学研究科社会環境医学専攻博士課程				
経歴	12年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本地域看護学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本行動医学会、日本小児保健協会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	母子保健業務のスキルアップを目指した映像教材の開発	共著	埼玉県立大学紀要 2017:18 p35-40	林裕栄、関美雪、吉岡幸子、藤川あや、柴田亜希、寺内裕美	2017.3
(3) 学会発表					
1	母子保健事業のスキルアップを目指した映像学習教材の評価(第1報)ー子どもの発育発達の見方ー	共著	日本看護学教育学会第26回学術集会、東京都新宿区	○林裕栄、柴田亜希、藤川あや、関美雪、吉岡幸子	2016.8
2	母子保健業務のスキルアップを目指した映像教材の評価(第2報)ー新生児訪問指導及び産婦訪問指導の技術ー	共著	日本看護学教育学会第26回学術集会、東京都新宿区	○関美雪、柴田亜希、藤川あや、吉岡幸子、林裕栄	2016.8
3	母子保健業務のスキルアップを目指した映像教材の評価(第3報)ー家族支援の技術向上を目指す事例検討会ー	共著	日本看護学教育学会第26回学術集会、東京都新宿区	○吉岡幸子、林裕栄、関美雪、柴田亜希、藤川あや	2016.8
4	初妊婦の不安の内容とソーシャルサポートに関する検討	共著	第19回地域看護学会学術集会、栃木県下野市	○関美雪、柴田亜希、藤川あや、吉岡幸子、林裕栄	2016.8
5	新たな運動習慣の獲得が身体機能に与える影響に関する研究	共著	第19回地域看護学会学術集会、栃木県下野市	○柴田亜希、関美雪、藤川あや	2016.8
6	学生と行う「遊びの広場」を通じた子育て支援(2)学生の乳幼児についての学びと保護者の支援の両立を目指した広場の実践検討	共著	全国保育士養成協議会第55回研究大会、岩手県盛岡市	○森田満里子、関美雪	2016.8
7	乳幼児期の子どもをもつ母親のママ友達との関わり	共著	第75回日本公衆衛生学会、大阪府大阪市	○寺内裕美、林裕栄、関美雪	2016.10
8	遊びの広場における育児相談の役割	共著	第20回日本健康福祉政策学会、さいたま市	○関美雪、森田満里子、星永	2016.11
9	看護大学生のボランティア活動を支える意義	共著	第20回日本健康福祉政策学会、さいたま市	○吉岡幸子、林裕栄、柴田亜希、藤川あや、関美雪	2016.11
10	埼玉県及びさいたま市による保健師人材育成プログラムの改訂(第1報)埼玉県内保健師の現任教育の現状と課題	共著	第5回日本公衆衛生看護学会学術集会、宮城県仙台市	○山口佳子、浅井澄代、佐藤夕子、澤田芳江、米澤純子、柴田亜希、関美雪、吉岡幸子	2017.1

11	埼玉県及びさいたま市による保健師人材育成プログラムの改訂(第2報)都道府県による保健師人材育成プログラムに関する調査	共著	第5回日本公衆衛生看護学会学術集会、宮城県仙台市	○浅井澄代、山口佳子、佐藤夕子、澤田芳江、米澤純子、柴田亜希、関美雪、吉岡幸子	2017.1
<b>(4)その他</b>					
1	該当なし				
<b>2. 競争的資金等の研究</b>					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))		在宅ケアに従事する看護職の「生活」の概念の明確化(研究分担者)		2016.4~2017.3
<b>3. 教育業績</b>					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
<b>(1)講義</b>					
1	公衆衛生看護展開論Ⅰ(母子・精神保健)	2016.10~2017.2	母子保健に関する訪問時の準備やアセスメント、相談支援、乳幼児健診などについて独自のテキストを作成し、講義を行った。		
2	地域ケア支援論	2016.11	保健活動を展開するための理論を学ぶ内容とともに、事例研究から地域ケアにおける支援の内容についての学習を深めた。		
3	看護研究	2016.12	研究における倫理的配慮について及び、倫理審査申請の手順について講義を行った。		
<b>(2)演習</b>					
1	地区診断論	2016.10~2017.2	健康課題を明確化する理論について講義と、社会資源の現状、健康指標や生活行動の分析についてはデータを用いて演習を行った。		
2	公衆衛生看護技術Ⅰ	2016.4	公衆衛生看護の援助技術の基本を理解できるよう作成した学習教材(DVD)を、演習に用いた。		
3	公衆衛生看護技術Ⅱ	2016.11	健康課題をふまえた健康教育の立案・実施・評価までの演習を行った。		
4	看護学演習(地域ケア支援)	2016.4~2017.3	公衆衛生看護の分野における研究の動向について理解を深めるため、文献抄読とクリティークを行った。		
<b>(3)実習</b>					
1	在宅看護学実習	2016.10~2016.12	訪問看護ステーションにおける訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解を深めることができるよう指導を行った。		
2	公衆衛生看護学実習	2016.4~2016.6	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう実習指導を行った。		
3	総合実習	2016.7	学生が興味関心のあるテーマについて、学習を深められるよう支援した。実習指導者と学習テーマを共有し、学生の指導にあたった。		
4	IPW実習	2016.10	事前オリエンテーション、報告会の運用とリフレクションを行い、教員及び施設ファシリテーターと学生の学びを深める支援を行った。		
<b>(4)論文指導</b>					
1	卒業研究	2016.4~2017.1	4名の学生を担当し、学生が関心を持った事象に関して、グループディスカッションを行い、学生が主体的に研究テーマに取り組めるよう関わった。		
2	看護学特別研究	2016.4~2017.3	副指導2名:看護実践及び研究、教育を発展させる研究課題の決定と研究方法の選択、研究内容の探求、研究の遂行に向けた指導補助を行った。		
<b>(5)その他</b>					
1	保健師卒業生勉強会	2016.6~2017.3	保健師卒業生を対象として、相談援助技や事例検討会などをテーマにした勉強会を年3回開催した。		
2	保健師就職支援	2016.4~2017.3	保健師志望の学生に対して、小論文添削、面接カードおよび面接対策を適宜行った。		
<b>4. 社会貢献活動</b>					
<b>(1)講演会、研修会等の講師</b>					
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ		開催年月
1	該当なし				
<b>(2)国、自治体、財団法人等における委員等</b>					
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称			任期
1	川口市介護保険認定審査会	委員			2005.4~現在
2	三郷市母子保健計画進捗管理	アドバイザー			2015.11~現在

3	越谷市まちの整備に関する審議会	委員	2015. 11～現在
4	さいたま市健康づくり推進協議会	委員	2015.4～現在
5	上尾市健康づくり推進協議会	委員	2016.4～現在
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	倫理委員会		
2	3学年担任		
3	IPW実習科目責任者会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	第33回三島賞(体力・栄養・免疫学会学術賞)	第26回体力・栄養・免疫学会大会	2016.8
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		